

平成22年度の村づくりがスタートしました。

よいしごと 一般会計予算額 41 億4,510万円

今年度の当初予算は、一般会計が 41 億 4,510 万円、7つの特別会計が 18 億 170 万円、総額 59 億 4,680 万円です。

新たな取組みとなる「子育て支援センター建設工事」、「までい次世代育成村民債」、「生命と地球、沖縄でのまでの旅」に加え、23 年 3 月にサービス開始に向けた情報通信基盤整備事業（光ファイバ）などの重要施策へ重点的に予算を配分しました。

村では、住民サービスが低下しないよう効果的な予算執行に努めるとともに、事務事業の見直しや経常経費の節減合理化を一層進めていきます。

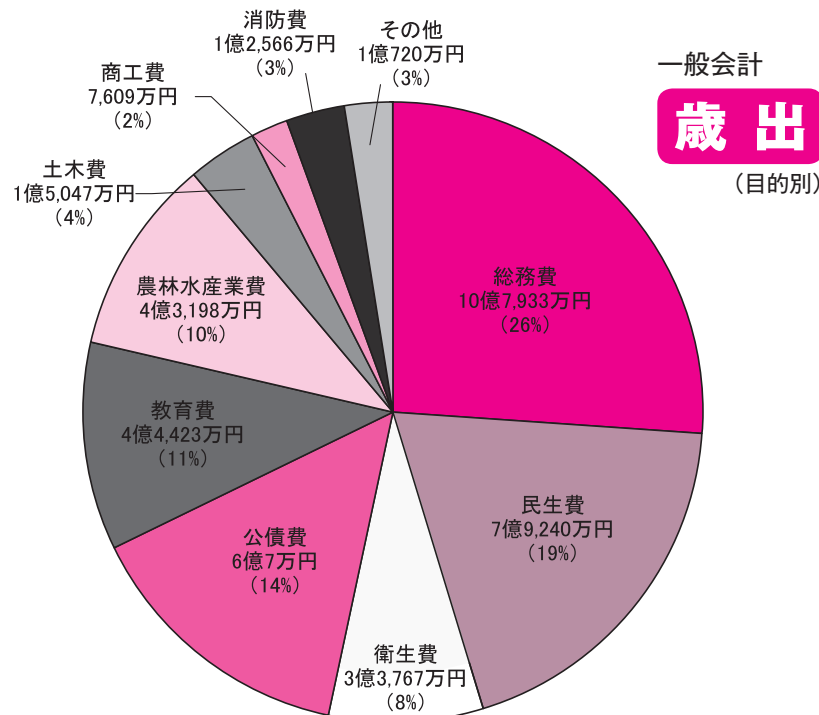
子育てをもっと
応援します！

●医療費を中学生まで無料化します(10月より)
●高校生のスクールバス乗車を無料にします

6 集落等の整備 やるきつながりプランや 美しい村づくりのために  4,822 万円	4 保健・福祉の増進 健康診断障がい者・ お年寄り、子育てのために  7 億 9,332 万円	2 交通通信体系の整備 道路・川の整備や除雪に  6 億 6,584 万円	平成 22 年度 村の 重点事業の 予算
7 その他 衆議院議員選挙、住民基本台帳 ネットワークシステムなどに  6,479 万円	5 教育文化施設等整備 学校環境の整備や生涯学習に  2 億 3,656 万円	3 生活環境の整備 ゴミ処理や消防防災、 上下水道の運営に  3 億 6,634 万円	1 産業の振興 農林業や商工業の振興に  2 億 4,676 万円

各特別会計の予算

- 国保会計
(事業勘定) 8 億 5,756 万円
(診療施設会計) 4,223 万円
- 村診療所 4,450 万円
- 簡易水道 1 億 6,668 万円
- 老人保健 21 万円
- 農業集落排水 5,599 万円
- 介護保険
(事業勘定) 5 億 6,929 万円
- 後期高齢者 6,271 万円
- 介護保険
(サービス勘定) 243 万円



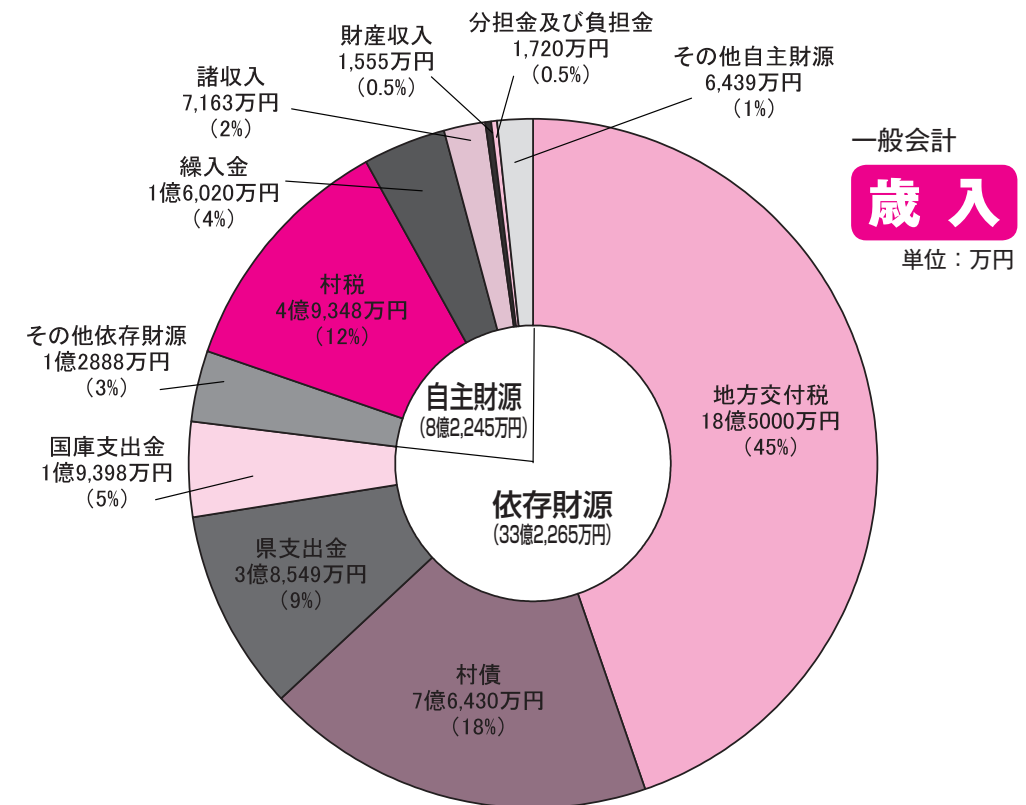
歳 出

目的別では総務費が最も大きく、次いで民生費、教育費、農林水産業費、衛生費、土木費と続いています。

性質別では普通建設事業費が最も大きく、次いで人件費、単独事業費、公債費、物件費、補助費等、操出金、扶助費と続いています。

性質別のうち、前年度比で大きな伸びを示したのは扶助費の 42・7%で、子ども手当などによる予算増です。

また、平成 22 年度の新規重点事業として、いたてクリニックス指定管理業務や子育て支援センター建設工事、までい次世代育成村民債、生命と地球、沖縄でのまでの旅、参議院議員選挙などの各種選挙の予算が挙げられています。



歳 入

依存財源（国や県などから入ってくるお金）の総額は 33 億 2,265 万円、前年度比 20 万 4,700 円（△0・6%）の減となっています。

歳入のトップは地方交付税 18 億 5,000 万円、歳入全体の 45%を占めています。

村債は 7 億 6,430 万円（前年度比 △6・6%減）を占めています。

減の主な要因は、定額給付金事業などが事業終了したことなどによるものです。

自主財源（村が自ら確保できるお金）の総額は 8 億 2,245 万円で、前年度比 1 億 4,533 万 円（△11・3%）の減となっています。

村税は 4 億 9,348 万円（前年度比 △0・8%減）で、歳入全体の 12%を占めています。

繰入金は 1 億 6,020 万円（前年度比 △40・5%）で、全体の 4%です。

減の主な要因は、村税、財産収入、繰入金等によるものです。